

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◇ 租税滞納残高が35年ぶりに減少

Q : 11年度の租税滞納状況がまとめられたようですが、内容を教えてください。

A : 35年ぶりに滞納残高が前年度を下回る結果となりました。

【解説】

国税庁は先月、平成11年度中の租税滞納状況について速報値を発表しました。

それによると、平成11年度（平成10年7月～平成11年6月）中に発生した全税目の新規発生滞納額は、前年度比12.6%減の1兆4,316億円と3年ぶりに減少しました。消費税の新規発生滞納額についても、前年度比13.2%減の6,292億円で4年ぶりに前年度を下回る結果となっています。

滞納残高については、前年度比1.7%減の2兆7,661億円となっています。滞納残高が前年度を下回ったのは、東京オリンピックの開催された昭和39年以来、35年ぶりのことです。消費税の滞納残高については、6,323億円と前年度に比べ2.9%増加する結果となりましたが、これは消費税導入以来もっとも低い割合となっています。

また、整理済額は、前年度比7.8%減の1兆4,804億円、消費税については前年度比1.6%減の6,115億円となっています。

国税庁では、今回の新規発生滞納額、滞納残高の減少は、消費税を中心とした滞納防止・整理策が功を奏した結果としています。



KIMIYO-I